

# 2014年度 支部共通事業 日本建築学会設計競技応募要項 課題「建築のいのち」

## 主催

日本建築学会

## 後援予定

日本建築士会連合会、日本建設業連合会

日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会

## 主旨

建築を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。

2020年の東京オリンピック開催が正式に決定した。1990年代より長く閉塞感に満ち、迷走していた日本に対し、ようやく差し向けられた具体的な目標といえる。

オリンピック開催の17日間、パラリンピック開催の13日間に向け、おびただしい物量の建築や社会インフラの整備がこれまでにないスピードで進められるだろう。そのなかで建てられる建築は、7年後のイベントを成功させるためだけでなく、その後も永く存在し続けねばならない。

しかし、この明るい兆しの一方に、いっこうに進まぬ震災復興があることも忘れてはならない。これは、津波に襲われ一瞬のうちに姿を消した街並みや集落の再建が、制度とスピディな復興を実現する建設事業だけでは成立しないということを物語っているのだろう。今なき遺産の記憶を継承し、それを後世に伝える役割を果たす建築とは何なのか。

この課題はそうした環境の変化の中でこれからの建築の在り方として、あえて「建築のいのち」を問うものである。「建築のいのち」とは文字通り建築の寿命のことであるが、建築の存在する時間だけでなくその質的な価値も示している。

式年遷宮を迎えた伊勢神宮を有する我々日本人は、建築を半永久的に持続させることが可能な優れた時間感覚をもつ民族といわれている。この式年遷宮はまさに技術を、そのかたちとともに伝承し保存する、「建築のいのち」を尊重するしくみのひとつといえるだろう。

大量生産大量消費の経済構造で成り立っていた20世紀は過去となったにもかかわらず、スクラップ・アンド・ビルドは依然として続けられている。我が国が持つ固有の風土や習慣を再認識するとともに今後の日本社会に求められる建築の空間的・時間的価値を見据え、経済至上主義のみによって図られない建築をつくるのが、今求められている。建築の長寿命化とはいったいなんなのだろうか。あるいは今後の社会システムに有益な影響を与えるような寿命や価値をもつ建築とは何か。建築を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中で駆け込むように急いで建築を作ってはならない。我々の建築に対する時間的・質的価値への感覚をもう一度見直し、これまでの建築の既成概念を超えた新しい建築のつくられ方、使われ方、残され方、あるいは壊され方を示す時である。新しい時代に対し具体的に回答する「建築のいのち」を生み出す提案をして欲しい。

審査委員長 木下 庸子

## 応募規程

### A. 課題

「建築のいのち」

### B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定してください。

### C. 要求図面および提出資料

①提出資料：提出資料の用紙はA1サイズ2枚（594×841mm）とします。なお、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可です。提出資料の裏面には、それぞれの番号を付けてください（No.1, No.2と明記）。仕上げは自由としますが、写真等を貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。模型、ビデオ等は受け付けません。

②要求図面等：要求図面は、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図です（縮尺明記のこと）。提出資料には要求図面のほか、計画対象の現状や計画条件を図や写真等を用いて解説したものと、設計主旨（600字以内の文章にまとめ、10ポイント以上の文字で提出資料中に記入）、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください。

③提出資料とは別に、上記②の設計趣旨をA4判用紙1枚（縦使い）に印刷して提出してください。

④上記のほかにデータ類として、(1)2枚の提出資料の内容をそれぞれ350dpiのPDFファイルとしたもの、(2)設計主旨の要約（200字以内）のテキストデータ、(3)顔写真（横4cm×縦3cm以内：顔が写っているものに限る）のデータ、を納めたDVDまたはCDを1部提出してください。

※提出資料及びデータ類は、全て無記名としてください。

なお、④は審査対象の資料としては使用せず、入選後の作品集の原稿の一部として使用いたします。

### D. その他注意事項

①図面および設計主旨の概要文用紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。

②応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

③応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

### E. 応募資格

本会個人会員とします。

### F. 提出方法

①所定の応募申込書（本会ホームページから入手してください。<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2014/compe.pdf>）・主旨概要文用紙（A4サイズ）を入れた封筒と図面と提出資料を一括して提出してください。なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信ハガキ（官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

②応募作品は1案ごとに別々に提出してください。

③締切期日：2014年6月27日(金)必着(17:00まで)

④提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。

たとえば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。ただし、海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。

⑤各支部事務局 所在地一覧

・北海道支部(北海道)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1  
北海道建設会館6階

TEL. 011-219-0702

・東北支部(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5番地15号  
日本生命仙台句当台南ビル4階

TEL. 022-265-3404

・関東支部(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨)

〒108-8414 港区芝5丁目26番20号  
TEL. 03-3456-2050

・東海支部(静岡、岐阜、愛知、三重)

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号  
昭和ビル5階

TEL. 052-243-6244

・北陸支部(新潟、富山、石川、福井、長野)

〒920-0863 金沢市玉川町15丁目1番地  
パークサイドビル3階

TEL. 076-220-5566

・近畿支部(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号  
大阪科学技術センター内

TEL. 06-6443-0538

・中国支部(鳥取、島根、岡山、広島、山口)

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報  
プラザ5階 広島県建築士会内

TEL. 082-243-6605

・四国支部(徳島、香川、愛媛、高知)

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185  
高知工科大学地域連携棟201

TEL. 0887-53-4858

・九州支部(福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、鹿児島、沖縄)

〒810-0001 福岡市中央区天神4-7-11  
クリアビル5階

TEL. 092-406-2416

## G. 審査方法

### ①支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16~20点は5点を支部入選とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと(端数は切り上げ)に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

### ②全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

#### 1. 全国1次審査会(非公開)

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞を決定します。

#### 2. 全国2次審査会(公開)

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。(タジマ奨励賞のプレゼンテーションはありません)

日時：9月12日(金)10:00~15:00

場所：神戸大学(大会会場：神戸市灘区六甲台町1-1)

プログラム(予定)

10:00~ 開場

10:15~12:00 ノミネート者によるプレゼンテーション

(発表時間8分間/PCプロジェクターは主催者側で用意します。コンピューター等は各自で用意してください。)

13:00~15:00 公開審査

16:15~17:00 表彰式

(プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。)

#### ③審査員(敬称略順不同)

<全国審査員>

審査委員長：木下 庸子(工学院大学教授)

城戸崎和佐(京都造形芸術大学准教授)

小玉祐一郎(神戸芸術工科大学教授)

田所辰之助(日本大学短期大学部教授)

村上 心(椋山女学園大学教授・東海支部)

渡辺 菊真(高知工科大学准教授・四国支部)

植田 暁(NPO法人景観ネットワーク代表理事・北海道支部)

<支部審査員>

#### ●北海道支部

川人 洋志(北海道工業大学教授)

赤坂真一郎(アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役)

小西 彦仁(ヒココニシ設計事務所代表取締役)

山田 良(札幌市立大学講師)

山之内裕一(山之内建築研究所代表)

#### ●東北支部

増田 聡(東北大学教授)

櫻井 一弥(東北学院大学准教授)

佃 悠(東北大学助教)

小地沢将之(仙台高等専門学校准教授)

佐藤 慎也(山形大学教授)

#### ●関東支部

木島 千嘉(木島千嘉建築設計事務所主宰)

北野 幸樹(日本大学准教授)

佐藤 宏亮(早稲田大学助教)

野中 茂(久米設計設計本部建築設計部副部長)

安原 幹(SALHAUS共同主宰)

#### ●東海支部

谷田 真(名城大学准教授)

高木 清江(愛知産業大学准教授)

脇坂 圭一(名古屋大学准教授)

早川 紀朱(中部大学講師)

山川 博幹(津島市建設部参事)

#### ●北陸支部

西村 伸也(新潟大学教授)

竹林 正宏(富山県建築住宅センター専務理事)

川崎 寧史(金沢工業大学教授)

矢尾 憲一(ヤオ設計代表)

早見 洋平(信州大学准教授)  
道地 慶子(石川工業高等専門学校准教授)

●近畿支部

加賀尾和紀(鴻池組建築設計部課長)  
小林 直紀(安井建築設計事務所部長)  
笹村 欽也(東畑建築事務所設計部長)  
田路 貴浩(京都大学准教授)  
松本 明(近畿大学教授)

●中国支部

岡河 貢(広島大学工学部准教授)  
小川 晋一(近畿大学教授)  
松本 静夫(前福山大学教授)  
村上 徹(広島工業大学教授)

●四国支部

宇都宮直樹(四国職業能力開発大学校講師)  
内野 輝明(内野設計代表)  
平山 昌信(艸建築工房代表)  
松浦 洋(松浦設計代表)

●九州支部

木方 十根(鹿児島大学教授)  
下田 貞幸(熊本高等専門学校教授)  
鶴崎 直樹(九州大学准教授)  
徳田 光弘(九州工業大学准教授)  
吉田 寛史(竹中工務店九州支店次長)

H. 賞および発表

①賞

1. 支部入選者：支部長より賞状および賞牌を贈ります(ただし、全国入選者は賞牌を除く)。
2. 全国入選者：次のとおりとします。
  - 最優秀賞 2点以内  
賞状・賞牌・賞金(計100万円)
  - 優秀賞 数点  
賞状・賞牌・賞金(各10万円)
  - 佳作 数点  
賞状・賞牌・賞金(各5万円)  
(授与は合計で12点以内とします。)
3. タジマ奨励賞 10点以内 賞状・賞金(各10万円)  
(タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与します。)  
注：賞金は、すべて税込みです。

②入選の発表

1. 入選の発表  
支部審査の結果：各支部より応募者に通知。  
全国審査の結果：  
支部入選者には、全国1次審査結果を8月上旬に通知。  
全国入選作品、審査講評：  
建築雑誌2014年11月号誌上発表。  
全国入選作品展示：大会会場にて開催。
2. 支部入選者表彰式：各支部で実施。  
全国入選者表彰式：9月12日(金)  
大会会場(神戸大学)

I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、建築学会がこの事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページへの掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償で作品データ等の使用を認めることとします。

J. その他

- ①応募作品は、返却致しません。必要な方は作品の控えと作品データを保管してください。
- ②質疑は受け付けません。
- ③応募規程に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

K. 申込み問い合わせ(本部・支部事務局)

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当 (F⑤参照)  
日本建築学会 本部事務局 設計競技担当  
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20  
TEL. 03-3456-2056

2014年度 日本建築学会設計競技  
「建築のいのち」応募申込書

応募支部	支 部 (設定地 : )	タジマ奨励賞対象者*2	整理番号	支部 No.	本部 No.
応募者氏名・フリガナ 連絡先 (自宅)		会員種別*1 会員番号	所属 (勤務先、部課/学校、学年) 連絡先 (所属)		
代 表 者	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名	番 号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
共 同 制 作 者	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名	番 号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名	番 号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名	番 号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	
	フリガナ	種別	会員	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名	番 号			
	自 宅 TEL e-mail			所 属 TEL FAX	

注) 太線の枠内をご記入ください。

\*1: 応募資格は本会個人会員ですので、必ず会員種別と会員番号を記入してください。

入会手続きは本会ホームページで行えます。 <http://www.aij.or.jp>

\*2: タジマ奨励賞は、準会員の個人または準会員のみのグループが対象となります。対象者は、○をしてください。